

2021年5月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 今月の基調判断は、「新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横這い圏内の動きとなっている」と、前回と同じ表現としました。基調判断としては、2月以降、横這いが続いています。
- 需要項目ごとの判断は、住宅投資について、「緩やかに持ち直している」と表現を少し変えましたが、判断に変更はありません。それ以外の項目は、変更ありません。
- 雇用や金融面についても、前回と同じ判断です。労働需給は、弱めの動きがみられており、金融面は、預金、貸出とも前年より増加しています。

■個人消費の動向

- 大型店売上高は、4月、前年を幾分下回りました。衣料品は低調が続いている一方、巣ごもり需要を背景に日用品、食料品は、底堅い動きを維持しています。また、家電販売は、白物が堅調であるほか、テレビ、エアコン等が好調であり、全体として堅調な動きとなっています。なお、5月入り後は、北海道に対する「緊急事態宣言」の適用により、商業施設等への時短営業・休業の要請といった公衆衛生上の措置が実施されるもとで、外出自粛の動きが一段と強まっており、消費への下押しが懸念されるところです。
- 4月の新車登録台数は、軽自動車、除く軽、合計とも、前年を上回りました。もっとも、これは前年の登録台数がコロナ禍で大きく落ち込んだためであり、前々年の水準を下回っています。新規受注、自動車ディーラーへの来店客は、感染症の影響がみられる中で、概ね横這いで推移しています。

■観光の動向

- 道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数をみると、4月は、全ての空港で前年を上回ったことから、全体でも前年を上回りました。2か月連続の前年比プラスです。もっとも、これは、前年が感染症の影響で大幅減となったためであり、前々年との比較では、引き続き、3分の1程度に止まっています。この間、旭川空港の国際線の就航便数は、4月は、14か月連続で定期便、国際チャーター便ともにゼロとなりました。
- ホテル・旅館宿泊客数は、4月、前年を上回りました。これも前年が感染症の影響で大幅減となったためであり、前々年の水準を大きく下回っています。新規予約が低調に推移する中で、休業に踏み切る先もみられるなど、引き続き、弱い動きとなっています。旭川市内のホテル客室稼働率は、4月、前年を上回りました。ただ、こちらも前年が感染症の影響で大きく落ち込んだためであり、前々年の水準を下回っています。
- 各地観光施設の入込みは、4月、ウェイトの大きい旭山動物園、層雲峡地区、ウトロ温泉、博物館網走監獄、利尻・礼文フェリーとも前年を上回ったことから、合計でも前年を上回りました。これも上記と同様の動きであり、前々年の水準を大きく下回っています。

■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局における公共工事請負金額は、4月、上川が前年を幾分上回ったものの、宗谷、オホーツクが前年を大きく下回ったことから、全体でも前年を大きく下回りました。前年を大きく下回ったのは、前年が市町村の大型工事等で水準が高かったこと、今年の一部に発注の遅れがみられていること、などによるものです。

■住宅着工

- 新設住宅着工戸数は、3月、貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲が

前年を下回ったことから、全体でも前年を幾分下回りました。基調としては、持家が一進一退の動きとなっているほか、貸家は高めの水準となっています。分譲は概ね横這い圏内の動きとなっています。

■雇用

- 雇用状況は、弱めの動きがみられています。有効求人倍率は、3月、稚内、北見が前年を上回りましたが、旭川、網走で前年を下回りました。旭川、網走が1倍を下回ったものの、稚内、北見が1倍超えとなったことから、全体では9か月連続の1倍超えとなりました。新規求人数は、3月、網走が前年を下回りましたが、旭川、稚内、北見が前年を上回ったことから、4つの職業安定所を合計した新規求人数でも、前年を上回りました。もっとも、これは前年の新規求人数がコロナ禍で落ち込んだことが大きく影響しています。

■金融動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局管下における金融機関貸出残高は、4月、前年を上回りました。4月まで26か月連続で前年を上回っています。

■今後のポイント

- 今後、道北地域の経済を見ていく上では、引き続き、感染症の帰趨とその影響がポイントになると考えられます。先行きは、感染症再拡大の影響が徐々に和らぐことで、緩やかな持ち直し基調に復していくとみられますが、極めて不確実性が高く、下振れリスクが大きい点には注意が必要です。具体的には、①緊急事態宣言の延長が見込まれるもとで、強い下押し圧力が続くことが懸念される観光、消費の動向、②雇用、所得、企業収益や設備投資計画への影響、③公共工事について、人手不足の問

題を抱える当地建設業者の受注への影響、といった面に注意を払いたい
と思います。

以 上